

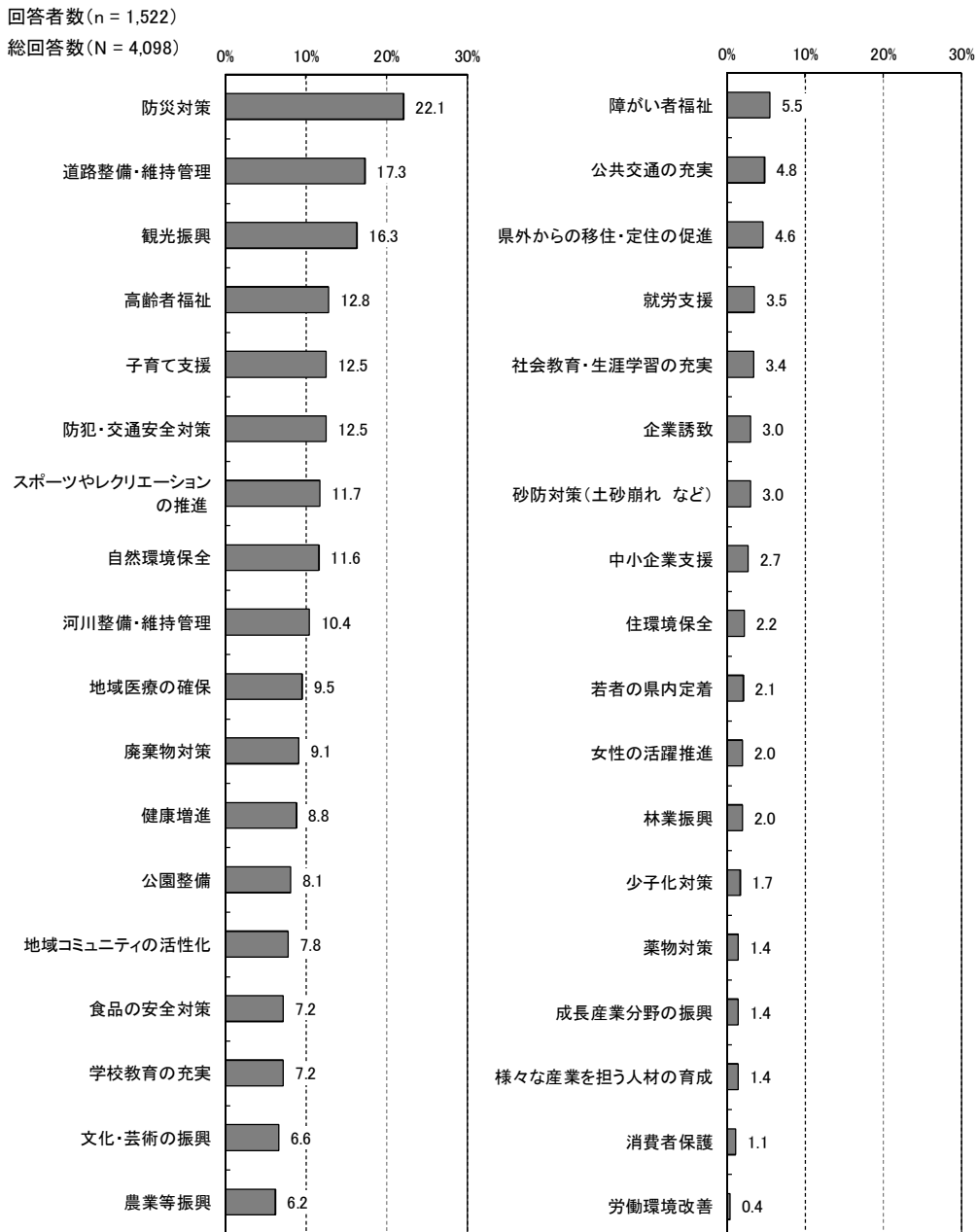
問10 県の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の取り組みについてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。(それぞれ5つまで)

【県の取り組みでよくやっていると思う分野】

全体(図10-1)で見ると、「防災対策」が22.1%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」(17.3%)、「観光振興」(16.3%)の順となっている。

図10-1 県の取り組みでよくやっていると思う分野



※ 第38回調査では、「よくやっている」「どちらかといえば、よくやっている」と答えた方のみに、選択肢が13分野で3つまでの選択であった。

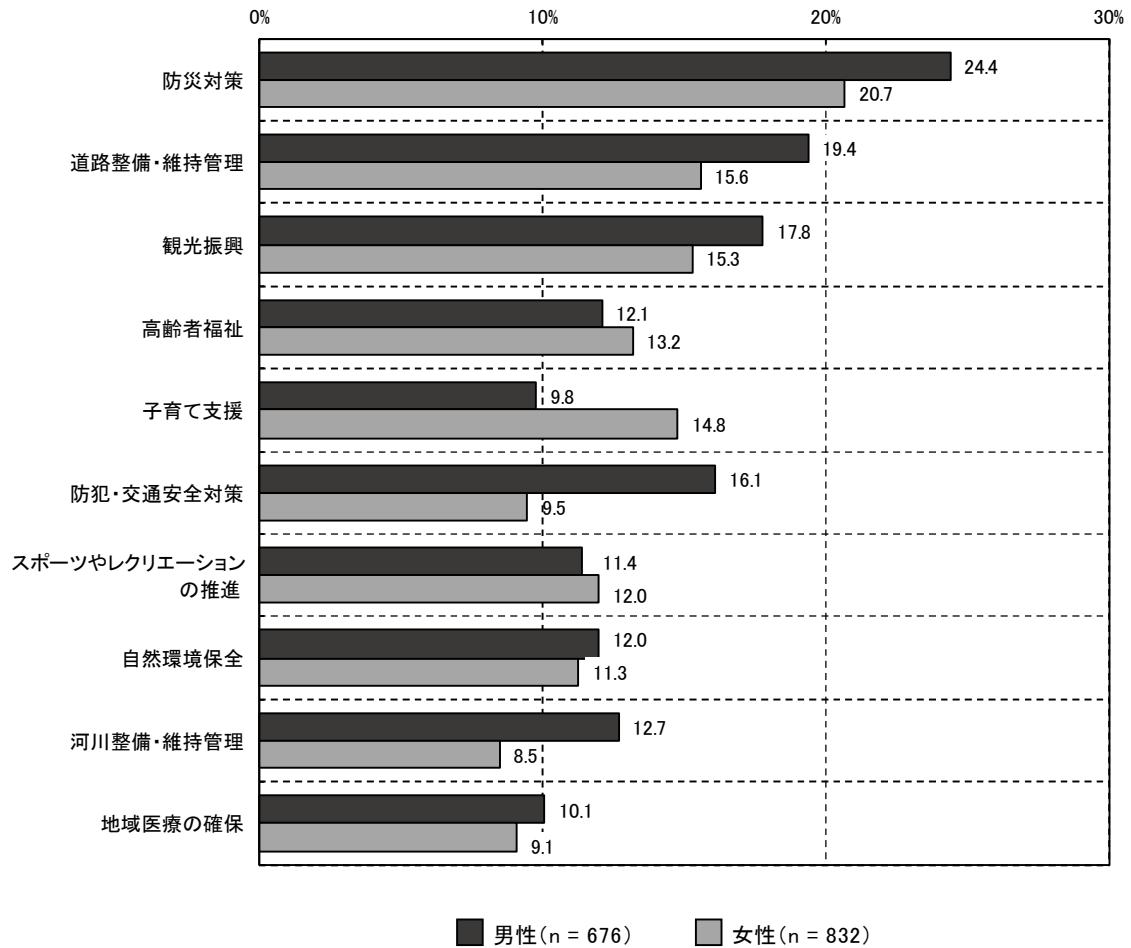
第39回調査では、選択肢が13分野で3つまでの選択であった。

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全
- ・農業等振興: 農業(畜産業・水産業含む)振興

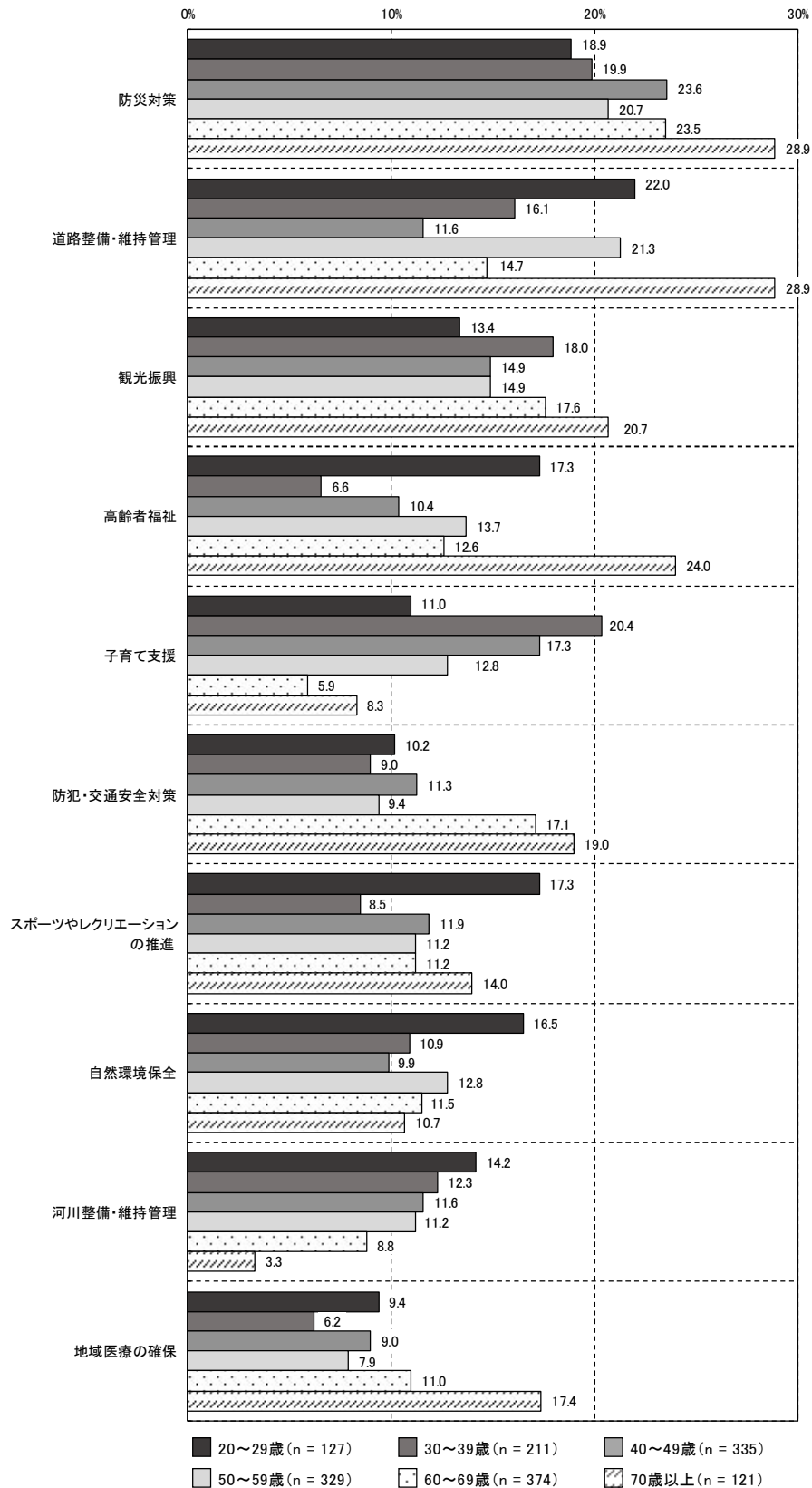
性別（図 10-2）で見ると、男女ともに「防災対策」が最も高く、男性が女性より 3.7 ポイント高くなっている。「防犯・交通安全対策」では、男性が女性より 6.6 ポイント、「子育て支援」では、女性が男性より 5.0 ポイント、それぞれ高くなっている。

図 10-2 【性別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



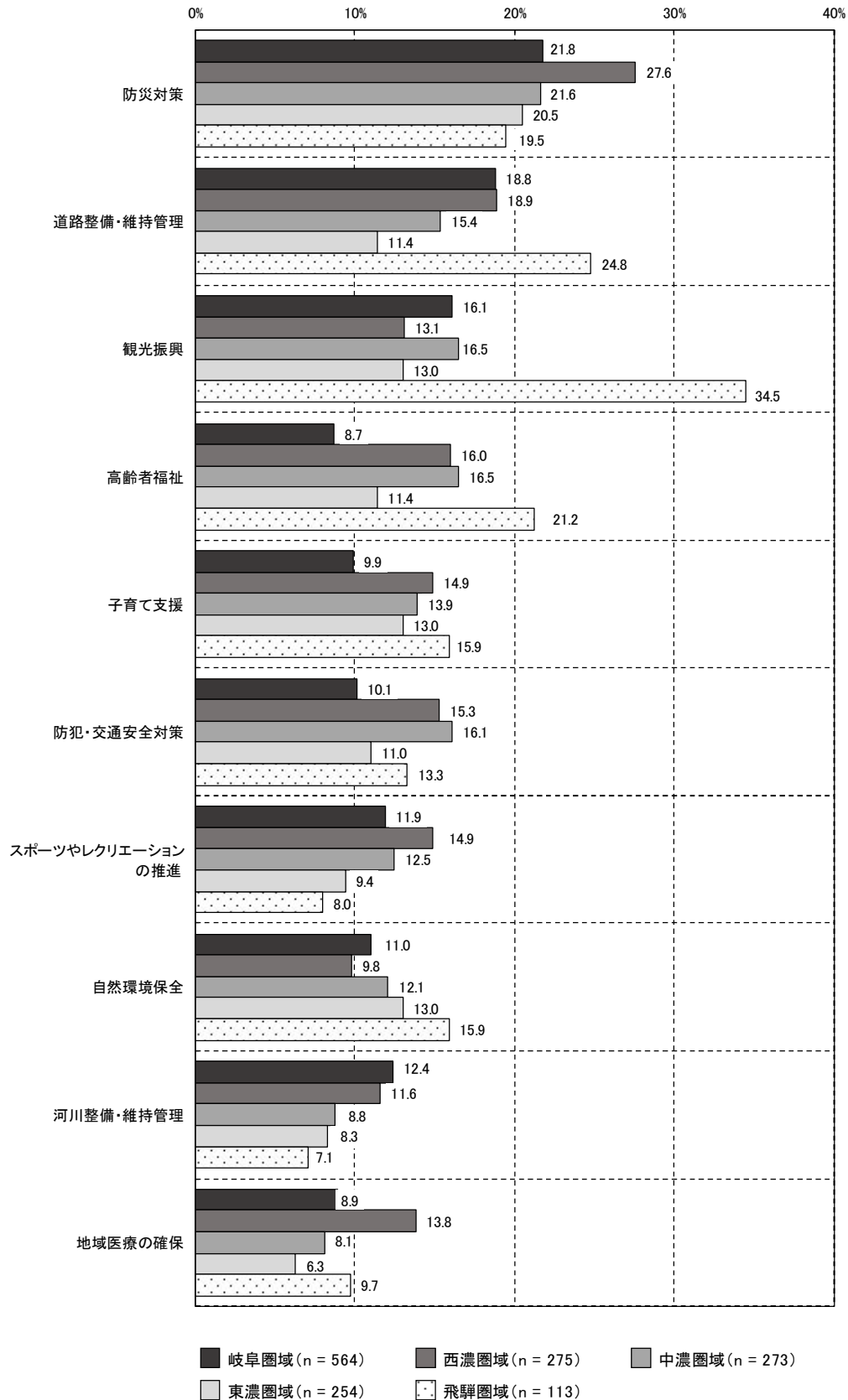
年代別（図 10-3）で見ると、40 歳代、60 歳代、70 歳以上は「防災対策」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 28.9%と最も高くなっている。20 歳代、50 歳代は「道路整備・維持管理」が最も高くなっている。30 歳代は「子育て支援」が 20.4%と最も高くなっている。70 歳以上は「道路整備・維持管理」でも 28.9%と最も高くなっている。

図 10-3 【年代別】県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



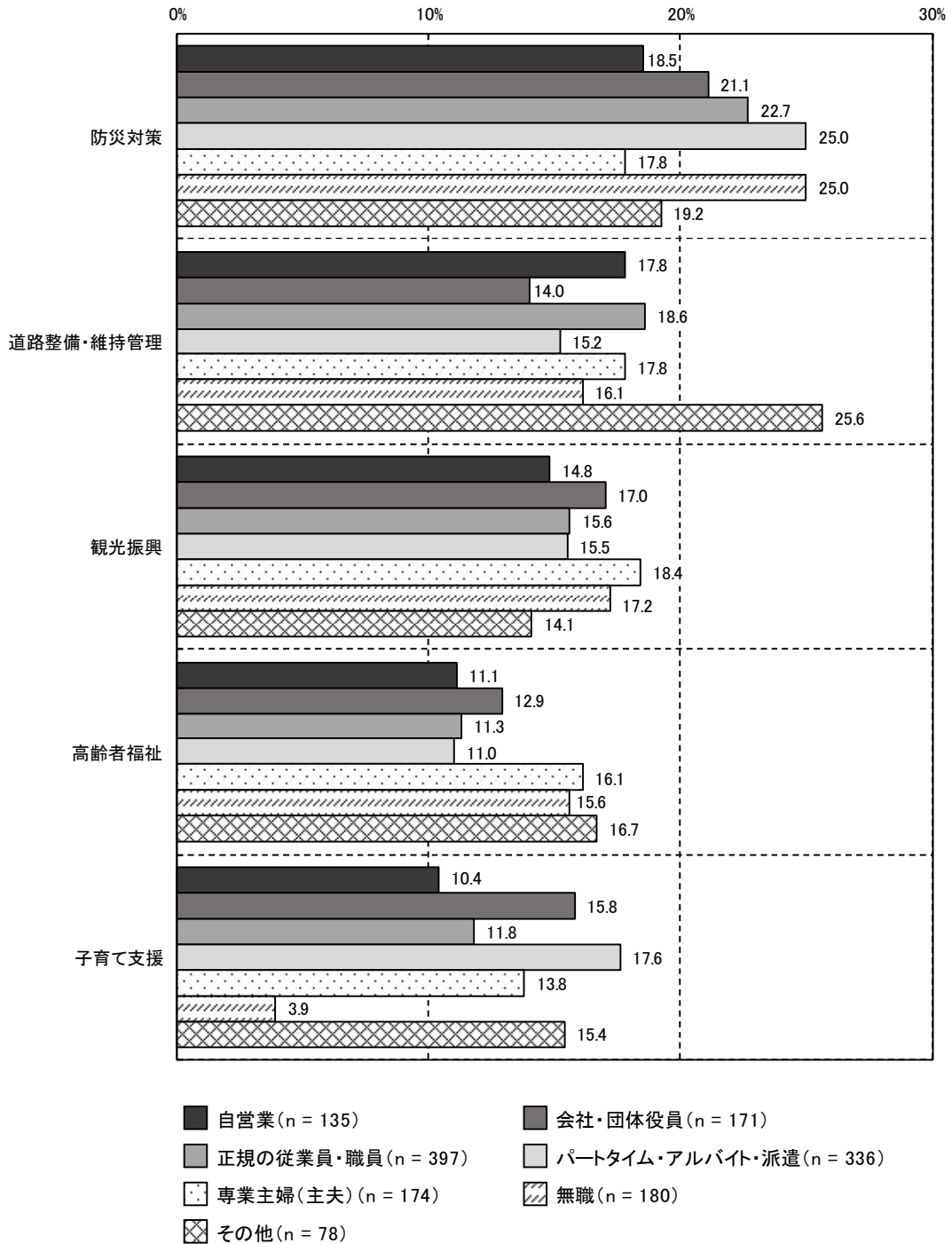
居住圏域別（図 10-4）で見ると、飛騨圏域を除くいずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高く、そのうち西濃圏域が 27.6%と最も高くなっている。飛騨圏域では、「観光振興」が 34.5%と最も高くなっている。

図 10-4 【居住圏域別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



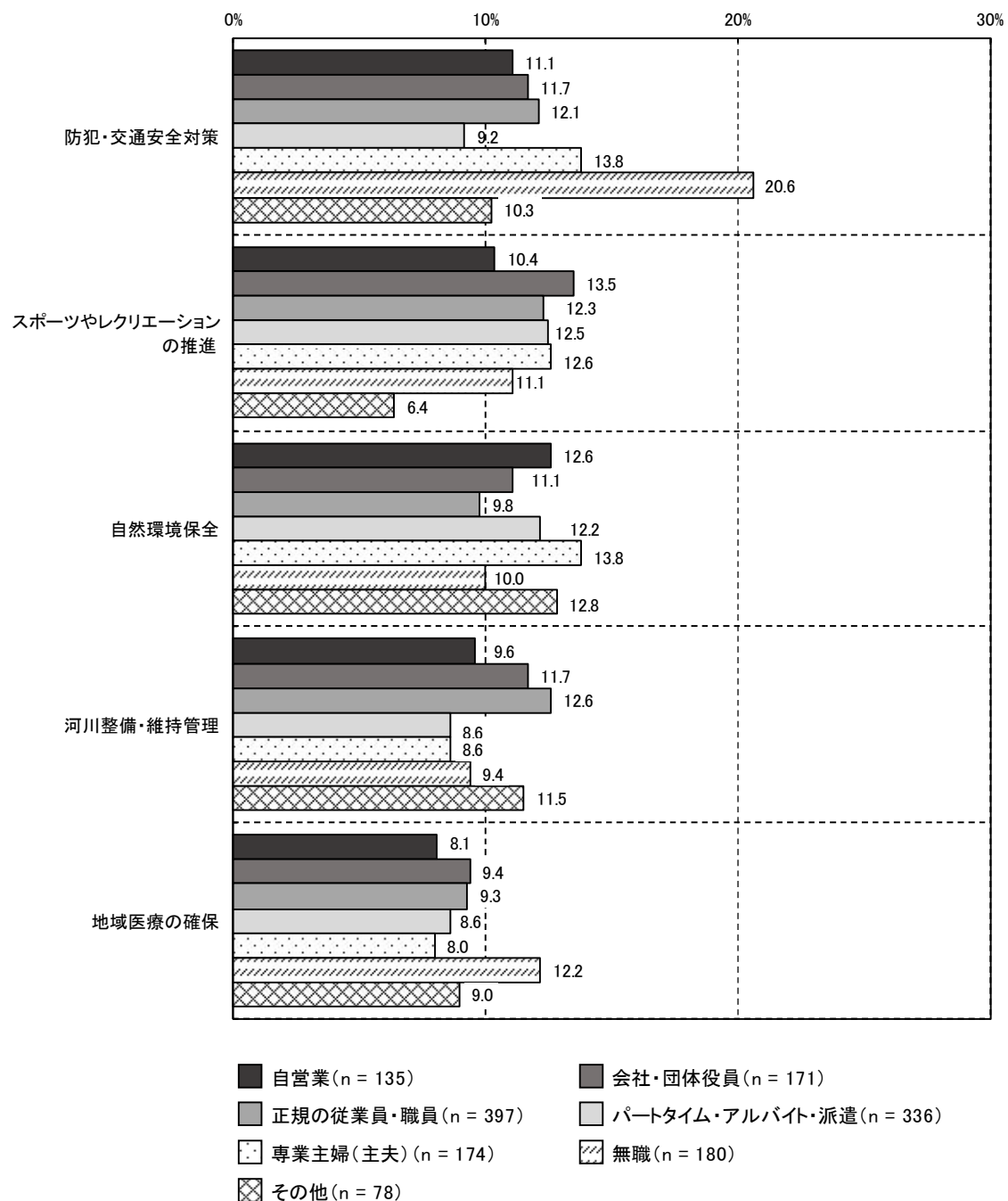
職業別（図 10-5）で見ると、専業主婦（主夫）、その他を除くいずれの職業においても「防災対策」が最も高く、そのうちパートタイム・アルバイト・派遣、無職がそれぞれ 25.0%と最も高くなっている。専業主婦（主夫）は「観光振興」が 18.4%、その他は「道路整備・維持管理」が 25.6%とそれぞれ最も高くなっている。

図 10-5 【職業別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-5 【職業別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



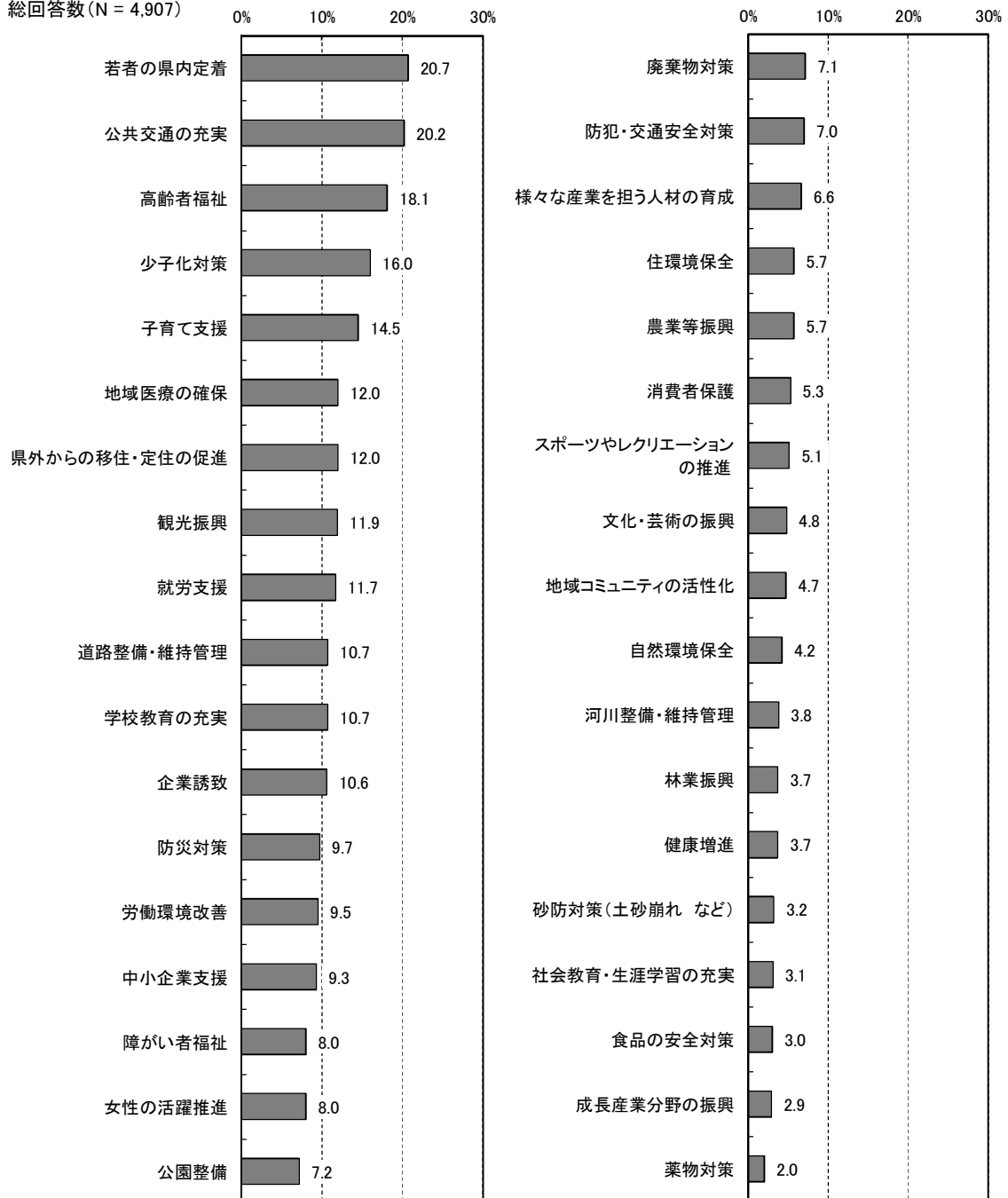
※ その他には、自由業、学生を含む。

【県の取り組みで努力が足りないと思う分野】

全体（図 10-2-1）で見ると、「若者の県内定着」が 20.7%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（20.2%）、「高齢者福祉」（18.1%）の順となっている。

図 10-2-1 県の取り組みで努力が足りないと思う分野

回答者数 (n = 1,522)
総回答数 (N = 4,907)



※ 第 38 回調査では、「どちらかといえば、努力が足りない」「努力が足りない」と答えた方のみに、選択肢が 13 分野で 3 つまでの選択であった。

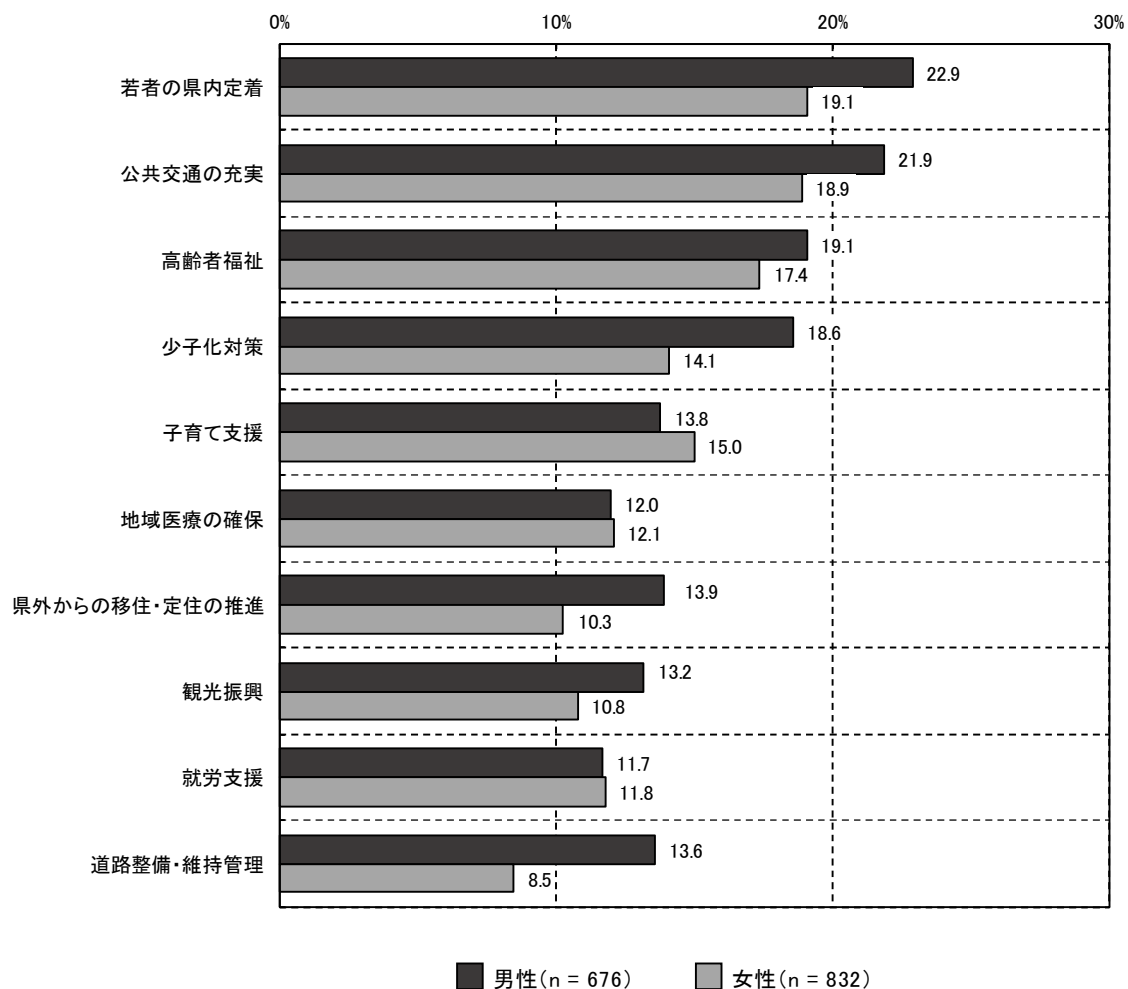
第 39 回調査では、選択肢が 13 分野で 3 つまでの選択であった。

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全
- ・農業等振興: 農業(畜産業・水産業含む)振興

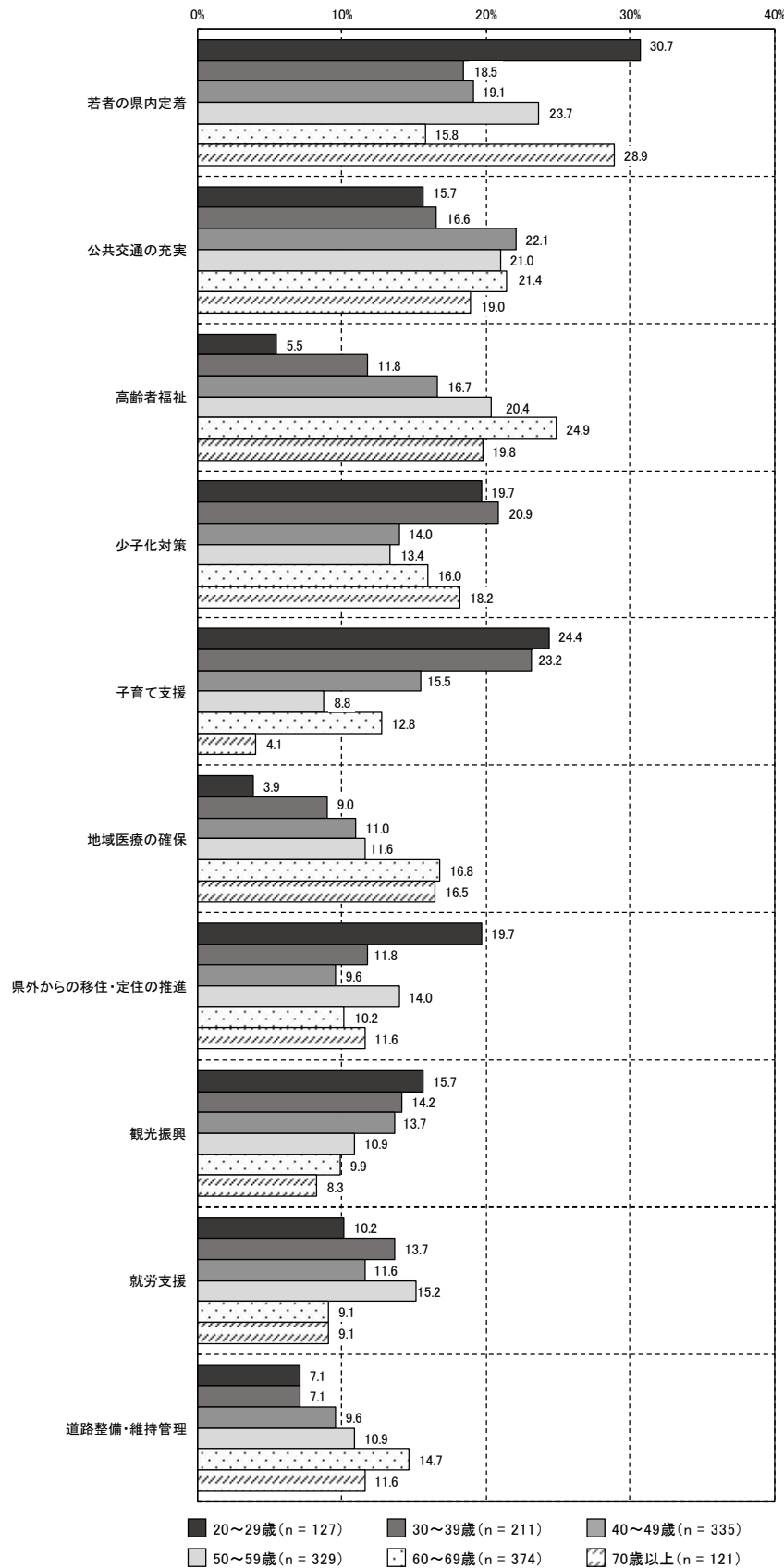
性別（図 10-2-2）で見ると、男女ともに「若者の県内定着」が最も高く、男性が女性より 3.8 ポイント高くなっている。「少子化対策」では男性が女性より 4.5 ポイント、「道路整備・維持管理」でも男性が女性より 5.1 ポイント、それぞれ高くなっている。

図 10-2-2 【性別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



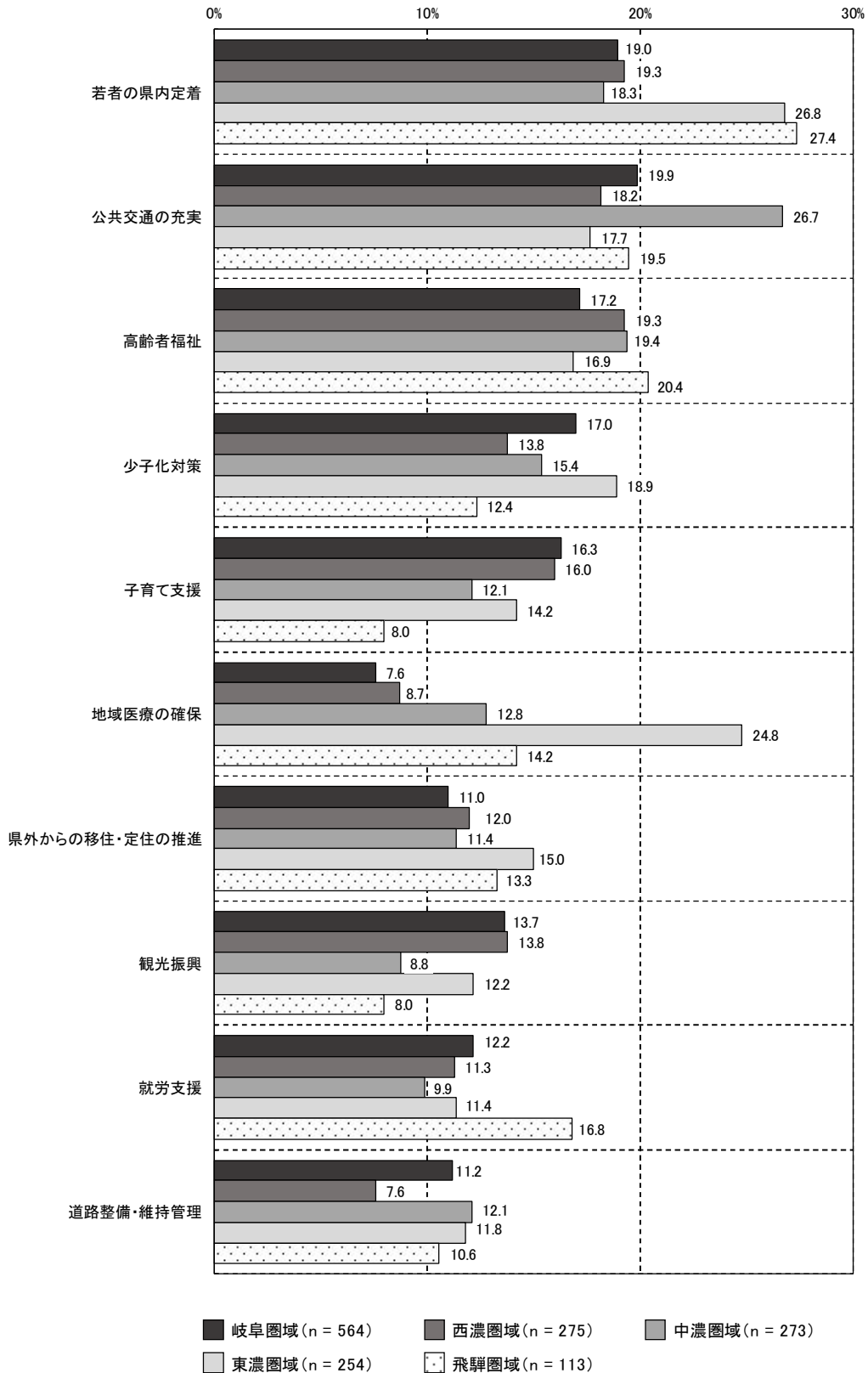
年代別（図 10-2-3）で見ると、20 歳代、50 歳代、70 歳以上は「若者の県内定着」、30 歳代は「子育て支援」、40 歳代は「公共交通の充実」、60 歳代は「高齢者福祉」が、それぞれ最も高くなっている。

図 10-2-3 【年代別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



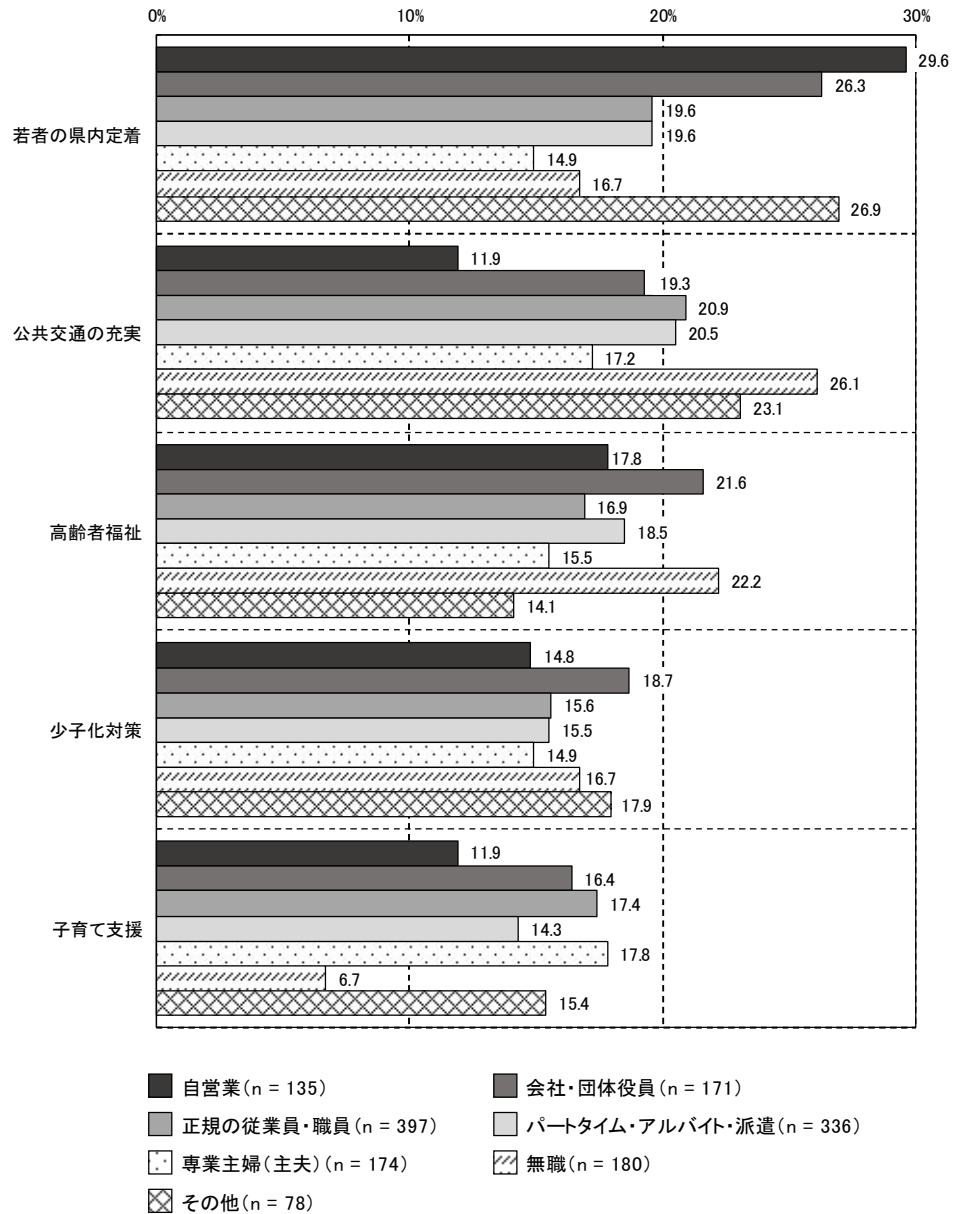
居住圏域別（図 10-2-4）で見ると、西濃圏域、東濃圏域、飛騨圏域は「若者の県内定着」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 27.4%と最も高くなっている。岐阜圏域、中濃圏域では「公共交通の充実」が最も高く、そのうち中濃圏域が 26.7%と最も高くなっている。西濃圏域は「高齢者福祉」でも 19.3%と最も高くなっている。

図 10-2-4 【居住圏域別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



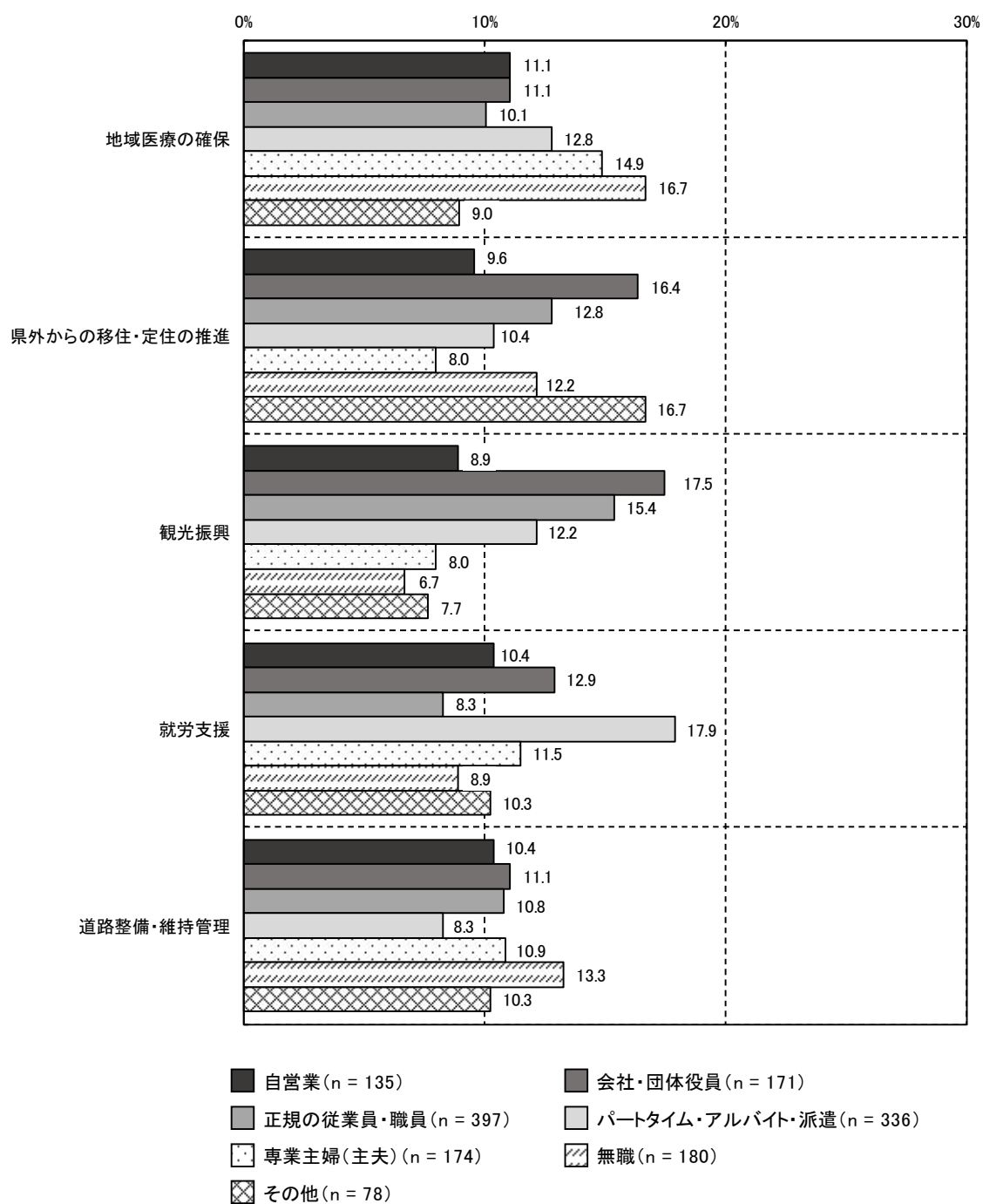
職業別（図 10-2-5）で見ると、自営業、会社・団体役員は「若者の県内定着」が最も高く、そのうち自営業が 29.6%と最も高くなっている。正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、無職は「公共交通の充実」が最も高く、そのうち無職が 26.1%と最も高くなっている。専業主婦（主夫）では「子育て支援」が 17.8%と最も高くなっている。

図 10-2-5 【職業別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-5 【職業別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。